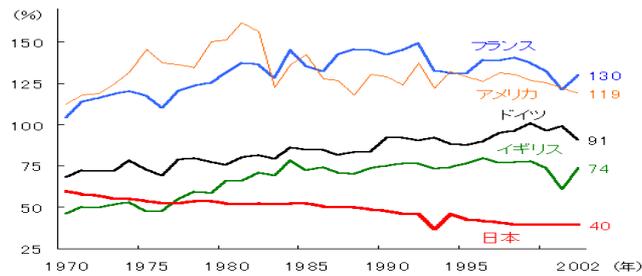


日本の食料自給率と穀物自給率

A 日本のカロリーベースの食料自給率は、昭和 40 年度の 73% から平成 10 年度には 40% と低下し、それ以降は 7 年連続で 40% と横ばいで推移しています。

主な先進国と比べると、フランス 130%、アメリカ 119%、ドイツ 91%、英国 74% となっており、我が国の食料自給率は主要な先進国の中で最低水準となっています。

主要先進国における食料自給率（カロリーベース）の推移



出所：農林水産省ウェブサイト「食糧自給の部屋」。

B 主要な先進国の平成 14 年におけるカロリーベースの食料自給率を比較してみると、オーストラリア 230%、アメリカ 119%、フランス 130%、英国 74% となっており、我が国の食料自給率は主要な先進国の中で最低水準となっています。また、世界 173 の国・地域の穀物自給率(14 年)を試算すると、日本は 124 位であり、先進国の集まりである OECD の加盟国の中では 30 か国中 27 位 でアイスランド、オランダに次ぐ低さとなっており、さらに人口 1 億人を超える国の中では最下位となっています(図 - 2)。

OECD 加盟国のうちルクセンブルクのデータが不明なため、同国は順序に含めていない。

図 I - 1 我が国の食料自給率の推移

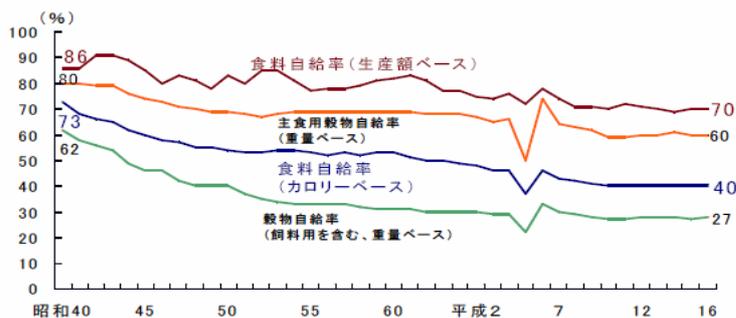
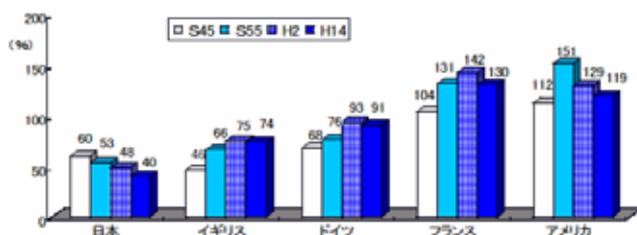


図 I - 2 主要先進国の食料自給率（カロリーベース）



出所：農林水産省『食糧自給率レポート 平成 16 年度』。